

【2本のリボンを使用してのラベンダースティック作り】

- ①ラベンダー18本を長目に切り、花穂以外の余計な葉や小さい花穂は根元に向かってしごきながら取ります。ラベンダーの茎がしなりと折り曲げやすくなるまで、数時間から1日程乾燥させます。
- ②花の花首をそろえ、花首から1cm位下の茎の所を輪ゴムで縛り固定します。
- ③7mm幅のリボンならば2m10cm位の長さを用意します。花首の真下の茎をリボンの短い方が固結びをして30cmくらいになるように縛ります。もう1本のリボンも同様に縛ります。固定用の輪ゴムは取り外します。
- ④ラベンダーの花穂と短い方のリボンは一緒に、リボンと同じ色または目立たない色の糸で巻きながら形を整えます。花穂をまとめておくと編みやすくなります。
- ⑤短い方のリボンは、長い方のリボンと間違えて編み込んでしまわないよう、結んだりしてまとめておきます。
- ⑥リボンの結び目の上で、切れないようゆっくりと茎を数本折り込み、完成時の長さくらいに茎を切ります。
- ⑦一番外側とすぐ内側の茎が切れないように気をつけながら折り、なるべく上から見た時に中心から放射状になるよう茎を折ります。
- ⑧リボンの短い方は茎の中の方に垂らします。リボンの濃い色の長い方で茎を2本ずつ茎の上・下・上・下と編み込んでいきます。リボンとリボンの隙間が開かないように、しっかりと引き締めながら1段目を編みます。
- ⑨2段目は濃い色のリボンと、薄い色のリボンを交差させてから、薄い色で編みます。
- ⑩3段目になったら、薄い色のリボンと濃い色のリボンと交差させてから、濃い色で一段編みます。この作業の繰り返しです。基本の作り方は、1本のリボンで作るラベンダースティックやラベンダーバスケットの作り方動画を参考にしてください。
- ⑪花穂の下でリボン結びをして完成にしたい方は、短い方のリボンと長い方のリボンを固結びしてからリボン結びをしてここで終了します。この場合のリボンの長さは2本共1m10cmくらいで大丈夫です。

【用意する物】

- ラベンダー偶数本（18本）
- 5～7mm幅のサテンリボン110cmを2本（茎までリボンを覆いたい方は210cmを2本）
- ハサミ
- 輪ゴム
- 糸



※動画ではラベンダーの種類はラバンディン系（グロッソ）・7mm幅のリボンで作成しています。実際のラベンダーの種類やリボンの幅により、必要な本数や寸法は異なりますので適宜調整してください。